



2019 年度

第61回 全国公立学校教頭会研究大会

第57回 近畿公立学校教頭会研究大会

2019年度 滋賀県小中学校教頭会研修会

滋賀大会

〔第一次ご案内〕

期 日 2019年7月31日 (水)・8月1日 (木)・2日 (金)

会 場 びわ湖大津プリンスホテル 他

『身近な環境との関わりを通じ 持続可能な社会の担い手となる子供の育成』

滋賀大会実行委員長 高嶋 利明

全国公立学校教頭会研究大会は、「北の大地 北海道」から「湖国 滋賀」へとバトンが渡されました。

日本一大きな湖「琵琶湖」を有する滋賀は、本州のほぼ真ん中に位置し、古くから東海道・中山道・北陸道が合流する交通の要所として重要な役割を果たしてまいりました。また、滋賀のシンボルである「琵琶湖」は、京阪神の人々、約1,400万人の飲料水の源であり大切な役割を担っています。さらに、滋賀は琵琶湖とそれを取り囲む山々を有し、古くから都が置かれるなど日本史上との関わりも強く、県全土にわたり自然・歴史・文化的資源が豊富に存在する地域です。

その「滋賀」において、2019年7月31日から8月2日までの3日間、第61回全国公立学校教頭会研究大会を大津市を中心に開催いたします。

第11期3年次にあたる「滋賀大会」は、全国統一研究主題「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」をもとに、サブテーマを「身近な環境との関わりを通じ 持続可能な社会の担い手となる子供の育成」と設定し、1年次の埼玉大会、2年次の札幌大会の研究成果や課題を踏まえ取り組んでまいります。

滋賀は環境先進県として琵琶湖の水質保全のための取り組みなどを積極的に行ってまいりました。その強みを生かし、水質汚染・エネルギー不足・地球温暖化といった自然環境問題はもとより、人口減少にともなう少子高齢化、グローバル化などといった社会環境の変化など、迫りくる身近な環境との関わりを通じ、その問題を子供一人ひとりが自らの問題として捉え、持続可能な社会づくりの担い手として育つためにはどうあるべきか、などを考えていきたいと思っています。

本研究大会においては、多くの情報を共有するとともに、活発な意見交換ができる場を設定し、研究主題やサブテーマに迫ることができればと願っております。また、不易と喫緊の課題をもとに、全国公立学校教頭会の研究の三本柱である研究の「継続性」、集団での「協働性」、副校長・教頭としての「関与性」を大切にしていきたいと考えております。

最後になりましたが、第61回滋賀大会が皆様にとって実り多きものとなりますよう、関係者一同、精一杯のおもてなしの心で大会準備に努めてまいります。湖上を吹きぬける爽やかな夏の風を感じ、周囲の山々の自然を眺めながら近江牛などのグルメに舌鼓を打つなど、湖国を満喫いただければと思います。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

開 催 要 項

1 主 催

全国公立学校教頭会 近畿公立学校教頭会 滋賀県小中学校教頭会

2 後 援

文部科学省・全国都道府県教育長協議会・滋賀県・大津市・滋賀県教育委員会・大津市教育委員会
 全国連合小学校長会・全日本中学校長会・全国へき地教育研究連盟・滋賀県都市教育長会
 滋賀県町村教育長会・滋賀県小学校長会・滋賀県中学校長会・公益社団法人日本PTA全国協議会
 滋賀県PTA連絡協議会・一般社団法人滋賀県教育会
 公益財団法人日本教育公務員弘済会滋賀支部（順不同）

申請予定

3 研究主題

「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」

（全国統一研究主題 第11期3年次）

キーワード 自立・協働・創造

～身近な環境との関わりを通じ 持続可能な社会の担い手となる子供の育成～

4 開催期日

2019年7月31日(水)・8月1日(木)・2日(金)

5 開催地

滋賀県 大津市・草津市

6 会 場

全体会 びわ湖大津プリンスホテル(コンベンションホール 淡海)

分科会 〈大津地区〉 びわ湖大津プリンスホテル・琵琶湖ホテル・ロイヤルオークホテル
 〈草津地区〉 クサツエステピアホテル・ホテルボストンプラザ草津

本 部 びわ湖大津プリンスホテル

7 日 程

		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00	
【第1日目】 7月31日(水) びわ湖大津 プリンスホテル								受 付	開 会 行 事	シンポジウム							
								DVD 放映 アトラクション									
【第2日目】 8月1日(木) 大津市内 草津市内 各会場	受 付	分 科 会							昼 食	分 科 会							
【第3日目】 8月2日(金) びわ湖大津 プリンスホテル	受 付	研 究 の ま と め	記念講演				閉 会 行 事										

8 分 科 会

分 科 会	課 題 名		提 言 者		
			全 国	近畿ブロック	滋賀県
1	教育課程に関する課題	A	旭川・小	京都・中	
		B	福島・小		滋賀・中
2	子供の発達に関する課題		山梨・小	大阪・中	滋賀・小
3	教育環境整備に関する課題		愛知・小	奈良・中	滋賀・小
4	組織・運営に関する課題		岡山・小	和歌山・小	滋賀・中
5	教職員の専門性に関する課題	A	香川・小	兵庫・中	
		B	大分・小		滋賀・中
6	副校長・教頭の職務内容や 職務機能に迫る課題		全公教総務・調査部主催		
7	特別課題	I	全公教研究部主催		
		II	開催県実行委員会主催		

9 シンポジウム

テーマ 「身近な環境との関わりを通じ 持続可能な社会の担い手となる子供の育成」

コーディネーター 小林圭介氏〔滋賀県立大学名誉教授〕

シンポジスト 浅原寛子氏
〔滋賀県湖南市前教育長、文部科学省大臣官房国際課専門官（OECD派遣中）〕

シンポジスト 今関信子氏〔児童文学作家〕

シンポジスト 小林 徹氏〔オブテックスグループ株式会社 代表取締役会長兼CEO〕

10 記念講演

講 師 今森光彦氏〔写真家〕

演 題 「琵琶湖水系の美しい自然」

11 大会参加費用

6,200円（内訳 参加費・資料代等：4,700円 弁当・お茶代1,500円）

*上記は3日間参加の金額です。欠席や途中で帰られても返金はありません。

*「参加費・資料代等」「弁当・お茶代」を分けた領収書が必要な場合、受付でお申し出ください。

12 参加申し込み

(1) 申込期限 2019年5月24日（金）

(2) 申込方法 各都道府県副校長会・教頭会事務局を通して一括申込となります。



堅田浮御堂



彦根城（国宝）



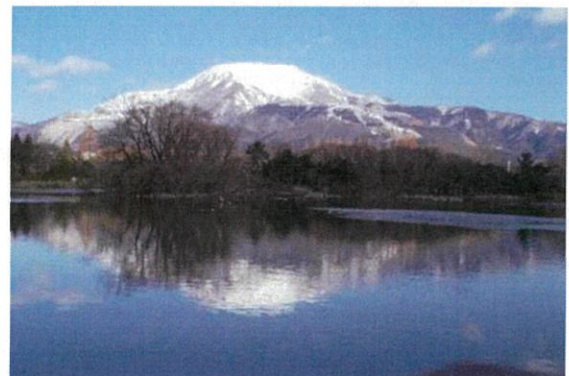
琵琶湖大橋



瀬田唐橋



信楽たぬき



逆さ伊吹山と三島池

全国公立学校教頭会研究大会 滋賀大会実行委員会

実行委員長 高 嶋 利 明



〒520-0051

滋賀県大津市梅林1丁目4-15（教育会館内）

TEL 077-525-1011 FAX 077-521-7345

E-mail shiga-25@estate.ocn.ne.jp